



引き続き節電にご協力を！

夏の猛暑もひと段落しましたが、余震が続いていることや福島原発がまだ予断を許さない状況にあることから、これからも引き続き節電が必要となります。秋にむけて一人ひとりの節電が、電力の安定供給につながるだけでなく、地球温暖化の原因となる二酸化炭素の排出を抑えることにつながります。



- 今回は、身近にできる節電方法をご紹介します。
- 照明
 - ① 必要のない照明は消し、照明時間も短くしましょう。
 - ② LED電球を活用しましょう。
 - ③ 照明器具は、こまめに掃除しましょう。
 - ④ 明るさが調整できる照明であれば、照度を下げて使用しましょう。

- その他
 - ① 長時間使用しない電気機器は、コンセントからプラグを抜くか、電源タップを切り、待機電力を減らしましょう。
 - ② スリープ機能（スタンバイ、休止状態）を活用しましょう。



- パソコン
 - ① ディスプレイの画面の明るさを下げてから使用しましょう。
 - ② スリープ機能（スタンバイ、休止状態）を活用しましょう。

不法投棄現場周辺の 水質分析結果

(平成23年度経年変動調査分)

小口字北沢地区不法投棄現場周辺の水質分析結果をお知らせします。

調査項目	健康項目 生活環境項目 その他
採水日	平成23年6月13日
採水場所	1、周辺環境水 ①投棄地直下河川 ②農業用水 ③小口川上流 2、投棄現場浸出水 ①投棄地下流側観測井 ②投棄地内観測井 3、周辺人家井戸水 ①人家井戸水2カ所
調査結果	周辺への汚染拡大の兆候は認められない。

問い合わせ
馬頭処分場整備室那珂川分室
☎0287-92-1411
環境総合推進室
☎0287-92-1110

広報文芸

俳句

牧牛の尻どつしりと黍風
油さして足踏みミシン青葉風
大戦の苦しみ思ふ原爆忌
念入りに香炉磨くや盆用意
雲の峰今復興の力欲し
那珂川の底ひに湧けり雲の峰

矢又星 幸子
小砂 藤田 マス
松野青木 俊蓉
三輪永森 悦子
久那瀬堀江 直子
小川金井 和子

短歌

一幅の絵画見る如し藍たたむ海をバックに向日葵の花
唐土なる王妃の跡とやさしきに稚児百合そよと花木こぼし(唐の御所)
われの意に沿いてこまめに鋤きてくれしミニ耕耘機薄暮に洗う
血液を薄める葉飲む日々心に心萎へゆく思ひに震ふ
大櫛並ぶ小暗き道を往く孫もわたしも小さい小さい
季くれば木陰にひそと半夏生「老いの才覚」読みて清しき

小川郡司 喜恵
吉田塚原 タイ
小川古澤 實
和見藤田 和夫
馬頭西宮 定子
馬頭佐藤 節子

川柳

外出着脱いでシャワーに生き返り
失敗を恥じてごまかす苦笑い
ふる里に帰り寝転ぶ青畳
上からの目線プライド逆撫でる
何かある鉛筆の文字乱れてる

大山下郷 佐藤 有紀
小砂 笹沼 季子
小川平澤 照雄
薬利大嶸 克明
谷田岡崎 甫子

戦没者等の遺族に対する特別弔慰金の請求について

戦没者等の遺族に対する、第九回特別弔慰金の請求期限は平成24年4月2日までです。
請求期限を過ぎますと、第九回特別弔慰金を受ける権利がなくなります。

対象者 戦没者等の死亡当時のご遺族で、平成17年4月1日から平成21年3月31日までの間に、恩給法による公務扶助料、特例扶助料、戦傷病者戦没者遺族等援護法による遺族年金、遺族給与金等を受けていた方が亡くなるなどしたために、平成21年4月1日において、公務扶助料、遺族年金等を受ける方がいない場合に特別弔慰金が支給されます。

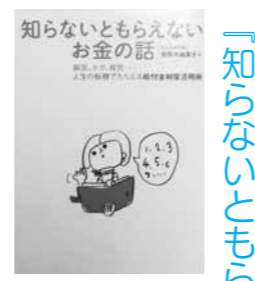
- 1 弔慰金の受給権者
- 2 戦没者等の子
- 3 戦没者等と生計関係を有していた①父母②孫③祖父母④兄弟姉妹（平成21年4月1日までに遺族以外の方と婚姻したことにより改姓された方又は遺族以外の方と養子縁組している方は除きます。）
- 4 前記3以外の①父母②孫③祖父母④兄弟姉妹
- 5 前記1から4以外の三親等内の親族（戦没者等の死亡時まで引き続き1年以上生計関係を有していた方に限ります。）

対象となるご遺族の方でまだ請求されていない方は、お早めに下記請求窓口へ問い合わせの上請求してください。

給付内容 額面24万円、6年償還の記名国債
請求窓口 住民生活課生活環境係 ☎0287-92-1112

新着図書

那珂川町図書館



『知らないともう知らないお金の話』 佐佐木由美子／著（実業之日本社）
病氣・ケガ、出産・育児、失業など、困ったときにももらえる給付金制度のしくみをわかりやすく解説。巻末に、ケース別に相談できる公的機関一覧と専門用語・索引を掲載。
企業の人事労務や社会保険をアドバイスするプロ、日常の現場の声をよく知る社会保険労務士が伝える、困ったときにももらえるお金のしくみがわかる一冊。



『蠅の帝国』 帯木 蓮生／著（新潮社）
「あの戦争」は普通の医者を軍医に変えた。足りない薬、不潔なベッド、聞こえてくる砲撃音。人を生かすために争んだ知恵が、戦場では何の役に立たない……。十五人の若き軍医が、極限状況下で見た、戦争の本当の姿とは。現役医師の著者が、軍医たちに捧げる鎮魂歌。戦争を軍医の視点で重層的に描く、戦争文学の偉大なる到達点。



『ゴン太ごめんね、もう大丈夫だよ！』 山路徹と救出チーム／編（光文社）
飼い主を捜して無人化した街をさまよう犬、室内でおびえながら縮こまっている猫、水欲しさに側溝に入り、抜け出せなくなつて死んだ牛たち……。福島第一原発半径二十キロ圏内に取り残された動物たちに思いを馳せたボランティアたちの勇気ある活動の記録。「小さな命」を救うために、今、私たちが出来ることは。原発事故を通して考える、命の大切さ。

- ◇ 「虚言少年」 京極 夏彦／著（集英社）
- ◇ 「東京観光」 中島京子／著（集英社）
- ◇ 「やないないなり」 富中 恵／著（新潮社）
- ◇ 「黄泉から来た女」 内田康夫／著（新潮社）
- ◇ 「密売人」 佐々木譲／著（角川春樹事務所）
- ◇ 「鍵のかかった部屋」 貴志 祐介／著（角川書店）
- ◇ 「ロック」 水橋文美江／著（ワニブックス）
- ◇ 「介護退職」 榎 周平／著（祥伝社）
- ◇ 「ニキの屈辱」 山崎 ナオコ／著（河出書房新社）
- ◇ 「原発のウソ」 小出 裕章／著（扶桑社）
- ◇ 「日本一楽しい遺言書教室」 佐山和弘／著（すばる舎）
- ◇ 「三くだり半からはじめる古文書入門」 高木 侃／著（柏書房）
- ◇ 「放射能から家族を守る」 那須正夫／著（朝日新聞出版）